

こっこめ通信 06 2011

「そうだ、林道へ行こう」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

震災の影響もあり、来館者がとても少なかったゴールデンウィーク。それでも少しずつ観光客の方が戻ってきてくれることに感謝しています。6月17日からはNPO法人八丈島観光レクリエーション研究会、一般社団法人八丈島観光協会、(公財)東京都公園協会の協働事業による「光るキノコ観察ツアー」が植物公園内で始まります。少しでも島を楽しんでいただけるよう、みんなでがんばっていきます！ぜひ遊びに来て下さい。

さて、今回は『「なんだろう？」な生きもの」「三原林道へ行ってみよう！』についてのお話です。

「なんだろう？」な生きもの

林道の脇などに転がっている倒木をひっくり返してみると、とても小さな「なんだろう？」と思う不思議な生きものがたくさん見られます。(倒木は必ず元に戻しましょう) これらの生きものは、倒木を食べ物にしているもの、そこに集まる生きものを捕食するもの、隠れているものなどさまざまです。このような生きものは土壌動物と言われ、豊かな森がつけられるために、無くてはならない生きものなのです。

ここでは次のページで紹介している三原林道で見つけた不思議な4種類の生きものを紹介します。



イボイボナメクジの仲間 *Granulilimax* sp. (写真左上)

伸びると20mmほどになるナメクジ。イボイボナメクジの仲間は名前の通り体に細かいイボ状の突起があり、他のカタツムリを食べることが知られています。この仲間はまだ分からないことが多く、これから分類の整理が進むと思われます。



タマヤスデの仲間 *Hyleoglomeris* sp. (写真左中)

触れるとほぼ球状に丸くなるので、ダンゴムシのように見えますが、ヤスデの仲間。ひっくり返って脚(写真右)が見えると17対(オスは19対)と多く、ダンゴムシの7対の脚との違いがはっきりします。見つけたタマヤスデは大きさが8mm、暗褐色に黄色い模様がありました。



アリツカコオロギの仲間 *Myrmecophilus* sp. (写真左下)

アリツカコオロギは名前の通りアリの巣の中やアリの巣の周辺で生活するコオロギ。島の中での記録はありませんでしたが、昨年生息していることが確認されました。2mmほどの大きさで体は褐色、後肢でピョンピョンと跳びはねることが出来ます。歩くスピードもとても早く、捕まえることが難しいくらいです。

ニホンアカザトウムシ (写真右)

Pseudobiantes japonicus

大きさは4~5mmほどのザトウムシの仲間。ザトウムシの仲間は島では非常に少なく、この種を含めて3種類ほどが確認されています。

それぞれの写真の左上のスケールは、実際の大きさです。とても小さい生きものだということが分かります。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

三原林道へ行ってみよう！

昨年より工事が続き、通行止めになっていた三原林道がようやく全線通行可能になりました。三原林道は三原山頂への道、大池・小池への道、唐淹への道、ポットホールへの道など脇道も楽しめる林道になっています。三根側から登ると野鳥もたくさん見られます。また、ちょっと不思議な看板もありますので探してみてください。全線舗装路で車の通行も可能ですが、歩くにとっても気持ちが良いですよ。ぜひお試しください！



①…三原山登山口の案内板。桎立側は伊勢崎富次朗商店の向かい側から入ります。②…唐滝へ行く道との分岐点。川沿いを直進すると唐滝へ、右に進むと三原林道になります。③…三原林道始まりの案内板。以前はもう少し低い場所にありました。④…唐滝への道標。唐滝へ向かう道（ヒサカキ畑）につながっています。（比較的分かりやすい道）⑤…唐滝への道標。唐滝へ向かう道（水道タンク）へつながっています。（とても分かりにくく、初めてではたどり着けません）⑥…三原橋。眼下に末吉・中之郷地区が見えます。（天気が良ければ青ヶ島も見えます）⑦…大池・小池に向かう道の反対側には「捨てないで！」のネコの看板。⑧…三原山頂との分岐点。左に進むと三原山頂ですが、ゲートがあり、車は進入できません。右に進むと三根側に下りていきます。⑨…ポットホールへの案内板。人が通ることが少なく、道はすぐに藪になってしまいます。⑩…眺望が素晴らしく、八丈富士・八丈小島・三根地区が一望できます。⑪…「犬のひとり歩きはいけません」のイヌの看板。⑫…三原林道の旧道（戦車道）の道標。鴨川林道へも抜けることが出来ますが、とても分かりづらいです。⑬…三根側の案内板。三根市街地より供養橋を渡ってすぐ右側にあります。

島内には三原林道の他にもいくつかの林道があります。林道は、森林環境整備のための道で森林管理道と呼ばれ、東京都や八丈町が管理しています。島内にある林道を一覧にしてみました。未舗装の林道もあり、車の往来が出来ない箇所もあります。また、通行止めになっている場所もありますので利用の際はご注意ください。

路線名	位置	管理主体	全幅員 (m)	延長 (m)	道路状況
富士環状林道	三根・大賀郷	東京都	4.0	9,540	未舗装（一部舗装）現在通行止め
東山林道	中之郷	東京都	4.0	3,757	未舗装 車通行注意
三原林道	三根・末吉・檜立	東京都	3.6～4.0	14,745	全線舗装 大型車不可
こん沢林道	末吉	東京都	3.6～4.0	7,474	一部未舗装 車通行注意
富士縦断林道	三根・大賀郷	東京都	3.6～4.0	1,802	未舗装 車通行不可
三郷田林道	末吉	東京都	4.0	2,644	一部未舗装 一部車通行注意（不可？）
鴨川林道	三根・大賀郷	八丈町	4.0	3,180	全線舗装 終点で大型車Ｕターン不可
大里林道	大賀郷	八丈町	4.0	399	現在整備中

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や虫が見られるかも観察しています。今回は5月8日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成23年第5回） 参加者：菊池昭、茂手木、鈴木、汲田、汲田、松本、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			36	チチコグサモドキ	花	12	トペラ	花
1	アオスゲ	実	37	トウバナ	花と実	13	ハゼノキ	蕾
2	アツバスミレ	花	38	ドクダミ	蕾	14	ハチジョイチゴ	若い実
3	イワニガナ	花	39	ナギナタガヤ	花	15	ハチジョウキブシ	実
4	ウスベニチチコグサ	花	40	ニラバラン	花	16	ヒメユズリハ	花
5	ウスベニニガナ	花	41	ニワゼキショウ	花	17	ホウライカズラ	実の虫こぶ
6	ウラジロチチコグサ	花	42	ヌカススキ	実	18	メダケ	花
7	オオトキワツユクサ	花	43	ヌカボ	花と実	19	モクレイシ	蕾
8	オオニワゼキショウ	花	44	ノビル	蕾			
9	オオバコ	花と実	45	ハナイバナ	花			
10	オオマツバウンラン	花	46	ハハコグサ	花	シダ植物		
11	オニタビラコ	花	47	ハルジオン	花	1	オオイタチシダ	
12	オランダミミナグサ	実	48	ヒナギキョウ	花と実	2	オオタニワタリ	新葉が出揃う
13	カスマグサ	花と実	49	ヒメコバンソウ	花	3	オニヤブソテツ	
14	カタバミ	花と実	50	ヒメヨツバムグラ	花	4	スギナ	
15	カモジグサ	花と実	51	ミゾイチゴツナギ	実	5	タチクラマゴケ	
16	カラスノエンドウ	花と実	52	ムラサキカタバミ	花	6	タチシノブ	胞子葉が目立つ
17	ギシギシ	花と実	53	ヤエムグラ	花	7	タマシダ	
18	キュウリグサ	花と実	54	ヤブタバコ	花	8	ナチシケシダ	
19	キランソウ	花	55	ヤマヌカボ	花	9	ノキシノブ	
20	ケキツネノボタン	花と実	56	ヨツバハコベ	蕾	10	ハカタシダ	
21	コケミズ	花	57	ヨツバムグラ	花	11	ハチジョウカナワラビ	
22	コケリンドウ	花				12	ハチジョウシダ	
23	コシロノセンダングサ	花と実				13	ハチジョウベニシダ	新葉が出揃う
24	コナスビ	花	木本			14	ヒトツバ	
25	コマツヨイグサ	花	1	オオシマザクラ	実	15	ホシダ	
26	コメツブツメクサ	花	2	オオバヤシャブシ	実	16	ホラシノブ	
27	コモチマンネングサ	花	3	ガクアジサイ	咲き始め	17	マメツタ	
28	シチトウスミレ	実	4	カジイチゴ	若い実	18	ミゾシダ	
29	シロバナマンテマ	花と実	5	クワ sp.	若い実	19	ヤマイタチシダ	
30	スズメノエンドウ	花と実	6	サカキカズラ	花、盛り	20	ワラビ	
31	スズメノヤリ	実	7	シマモクセイ	実、大量に実る	今回は96種の植物を観察しました。渡りをする蝶、アサギマダラが見られ、ヤブニッケイもち病菌の菌えいも目立ちました。		
32	セイヨウタンポポ	花	8	シロダモ	毛をまとった新葉			
33	タチイヌノフグリ	花と実	9	スダジイ	花、盛り			
34	チガヤ	花	10	センダン	蕾			
35	チチコグサ	花	11	タイミンタチバナ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、三原林道でたくさん見られる「カキラン」にスポットを当ててみたいと思います。



カキラン

Epipactis thunbergii

ラン科カキラン属。アジア北東部の広範囲に分布しています。

三原山や八丈富士の林道などで、ごく普通に見られるランの仲間。高さは25cmほどになり、葉には光沢がありません。群生している姿は見応えがあります。6月下旬頃から黄色い花を多数つけます。

【富士箱根伊豆国立公園指定植物】

2011 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は 特別行事があります		1 ●	2	3	4 ガイドウォーク
			03 : 52 10 : 43 17 : 46 23 : 01	04 : 25 11 : 18 18 : 22 23 : 35	04 : 59 11 : 54 18 : 58	05 : 35 00 : 10 19 : 36 12 : 32
5 ガイドウォーク	芒種 6	7	8	9 ☾	10	11 ガイドウォーク
06 : 14 00 : 48 20 : 15 13 : 12	06 : 57 01 : 30 20 : 55 13 : 55	07 : 48 02 : 21 21 : 38 14 : 41	08 : 52 03 : 22 22 : 23 15 : 32	10 : 17 04 : 36 23 : 12 16 : 30	12 : 05 05 : 57 17 : 38	00 : 04 07 : 10 13 : 51 18 : 54
12 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	13	14	15	16 ○	17	18 ガイドウォーク
00 : 57 08 : 11 15 : 14 20 : 10	01 : 49 09 : 03 16 : 17 21 : 15	02 : 39 09 : 50 17 : 09 22 : 09	03 : 26 10 : 34 17 : 54 22 : 54	04 : 10 11 : 16 18 : 34 23 : 35	04 : 53 11 : 56 19 : 10	05 : 35 00 : 14 19 : 43 12 : 34
19 ガイドウォーク	20	21	夏至 22	23 ☾	24	25 ガイドウォーク 八文学講座 「公園のシダを見分けよう」
06 : 15 00 : 52 20 : 14 13 : 10	06 : 56 01 : 30 20 : 43 13 : 45	07 : 39 02 : 13 21 : 12 14 : 19	08 : 27 03 : 01 21 : 44 14 : 54	09 : 29 04 : 00 22 : 21 15 : 33	10 : 57 05 : 10 23 : 07 16 : 20	06 : 23 12 : 53 17 : 28
26 ガイドウォーク	27	28	29	30		
00 : 02 07 : 28 14 : 33 18 : 58	01 : 01 08 : 21 15 : 37 20 : 22	01 : 56 09 : 06 16 : 23 21 : 23	02 : 43 09 : 46 17 : 01 22 : 08	03 : 26 10 : 25 17 : 36 22 : 47		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6 / 12 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「公園のシダを見分けよう」

毎月行っている八文学講座。公園内にあるシダ植物と一緒に観察しませんか。どんなシダがあるのでしょうか？
6 / 25 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2011.6.1 第121号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話 : 04996-2-4811 Fax : 04996-2-4888

編集後記

人の見ていない場所にもいろいろな生きものがいて、人の生活とどこかで繋がっている。自然を壊してしまうことは、そこで生活している生きものが棲めなくなり、その生きものと繋がっている人の生活も崩れていく。これは小さいきものを見る私の思いです。(高)